INFORMATION

JBCC holdings

この会社案内は、JBCCホールディングス株式会社が
印刷プロセスで使用する11.69kgのアルミ板をリユースする事で、
CO2排出量を119.05kg削減しました。

当CO2削減認定は株式会社日本スマートエナジー社がこの印刷システムを厳格・公正に審査・確認して与えられたものです。

MCP マイナスカーボン プリンティングシステムズ

高さ 22m
直径 26cm
1 2 3 4 5 6 7 8 0.54

119.05kgのCO2削減量とは
樹齢50年(高さ22m・直径26cm)の
杉の木約8.54本分が1年間に
吸収するCO2量に匹敵します。

(出典：林業白書)

JBCCホールディングス株式会社は、MCPによる印刷を通じ、インドネシア・バリ州の森林再生事業（固定公園内の植樹 3,000本）に参加しています。

ノンVOCインキ Ver.2 2008.10

JBCCホールディングス株式会社

2014-08-2700

「ITの可能性を、未来の可能性に。」――目指すは　ベスト・サービスカンパニー

JBCC株式会社（JBCC）
アドバンスト・アプリケーション株式会社（AAC）
株式会社シーアイエス（CIS）
ゼネラル・ビジネス・サービス株式会社（GBS）
株式会社アイ・ラーニング（i-Learning）
JBサービス株式会社（JBS）
株式会社リード・レックス（Reed Rex）
株式会社ソルネット（SOLNET）
捷報（大連）信息技術有限公司（JBCN大連）
佳報（上海）信息技術有限公司（JBCN上海）
JBCC（Thailand）Co., Ltd.（JBTH）
JBSG PTE. LTD.（JBSG）
JBパートナーソリューション株式会社（JBPS）
株式会社イグアス（iGUAZU）
JBアドバンスト・テクノロジー株式会社（JBAT）
C&Cビジネスサービス株式会社（C&CBS）

経営理念

ビジョン

社会、お客様、株主、社員と感動を共有し、信頼される
グローバルなベスト・サービスカンパニーを目指します。

CSR基本理念

JBグループはベスト・サービスカンパニーとして、
よき企業市民を目指し、社会および環境との調和を図ります。

行動規範

「自らマインド」自らベストを考え自ら行動をおこす
「JBグループ行動基準」

私たちを取り巻く社会・経済環境は日々変化し、お客様企業の成長戦略や経営課題、IT活用ニーズは多様化、高度化してきております。
ＪＢグループは、1964年の創業以来2万社以上のお客様企業のIT活用を支援してまいりました。これらの経験と実績をベースに、グループ各社はそれぞれが得意とする事業分野においてスピード感のある事業展開を行い、お客様に最適なソリューション(解決策)の提案、サービスの提供を積極的に行っております。

おかげさまで2014年4月にＪＢグループは創立50周年を迎えました。これもひとえに皆様のご支援、ご愛顧の賜物と心より感謝いたしております。
これまでもこれからも、グループ各社が連携し、社員が一丸となってお客様満足度の向上と企業価値の最大化、社会への貢献を通じて皆様から信頼されるグローバルなベスト・サービスカンパニーを目指してまいります。
今後ともより一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

JBCCホールディングス
代表取締役社長
山田隆司

ブランドシンボルの意義
“知性”と“情熱”

「赤」＝社員の強い情熱
「グレー」＝IT企業として必要な知性
「JとBの一体化」＝お客様や社会、パートナーとの「繋がり」を想起
「J上部の丸いポイント」＝「個人の人格の尊重」や「自立した姿勢」を表現
全体＝「信頼感」あるイメージで構成

これまでも、これからも、お客様に役立つ最適なソ　リューションを提供し続けます

おかげさまで2014年4月にJBグループは創立50周年を迎えました。
1964年の創業以来、お客様に役立つ最適なソリューションを提供し続けるため、様々な変革を進めてきました。
創業から今に至るまでのあゆみをご紹介します。

第1の創業（1964年～）

日本初の漢字変換可能な オフィスコンピューター等の オリジナル製品の開発、製造、販売

1964年 4月　日本ビジネスコンピューター株式会社設立

超小型コンピューターの先駆けとなるTOSBAC-1100Dを開発、販売

1977年10月　オフィスコンピューター「JBCシステム- 1」を開発、販売
翌年、日本ではじめて漢字処理のできる「JBCシステム- 1漢字」を開発、販売

1982年 4月　CIを導入し、お客様（Customer）との信頼関係を大切にすることを目的として、新ブランド名を「JBCC」とする

光学読取装置（OCR）の専門的販売を図るため、子会社としてユニコス株式会社を設立

1982年 5月　意思決定支援システム「JUSMATEシリーズ」を開発、販売

1983年 3月　日本アイ・ビー・エム株式会社と販売提携し、「IBMマルチステーション5550」を販売開始

日本初のネットワーク分散処理システム「C-200」を開発、販売

第2の創業（1983年～）

日本アイ・ビー・エム株式会社と提携し、ビジネス基盤を強化

1983年 8月　日本アイ・ビー・エム株式会社と資本・業務提携

1990年10月　株式を店頭銘柄として登録

1994年 4月　連結子会社としてジェイビーシーサプライ株式会社を設立

1994年11月　エンドユーザー・コンピューティングを支援するツール「WorkFriend」を販売開始

1998年 7月　ソフトウェア開発事業強化のため、中国企業との合弁により、連結子会社としてジェイ・ビー・ディ・ケー株式会社（JBDK）を設立

1999年 7月　運用監視センター（SMAC）を開設

1999年10月　株式を東京証券取引所市場第二部へ上場

2000年 9月　株式を東京証券取引所市場第一部へ上場

2001年 4月　株式会社アプティの株式を取得し、連結子会社とする

2001年11月　CRM統合ソリューション「CustomerVision」を販売開始

2002年 4月　連結子会社として株式会社ジェイ・ビー・ティ・エス、株式会社ジェイ・ビー・エス・エスを設立

2003年 9月　業務コンポーネント型ERP「EnterpriseVision」を販売開始

2003年10月　自社内にERP（Enterprise Resorce Planning）システム［統合基幹業務システム］を導入・稼動

2003年12月　株式会社シーアイエス（CIS）の株式を取得し、連結子会社とする

2004年 1月　ISO14001取得（横浜事業所）、のちに全事業所で取得

2004年 4月　株式会社アイキャスの株式を取得し、連結子会社とする

2004年 6月　株式会社ビー・エス・シーの株式を取得し、連結子会社とする

2004年 8月　中国ホルチン砂漠緑化活動を開始

2004年11月　JBCCヘルスケア・コンソーシアム（JBHC）を設立

2005年 2月　蒲田事業所内にソリューション・コンピテンシー・センター（SLCC）を開設

2005年 4月　連結子会社、株式会社ジェイ・ビー・ティ・エスとユニコス株式会社を合併し、株式会社ジェイビーシーシー・テクニカル・サービスとする

連結子会社ジェイビーシーサプライ株式会社、株式会社アイキャスおよび株式会社ビー・エス・シーを合併し、サプライバンク株式会社とする

2005年 7月　シンクライアント「Secure Terminal」を販売開始

2005年10月　医療ソリューション「Medical Vision」を販売開始

2005年11月　「JBCC事業分割準備株式会社」および、「パートナー事業分割準備株式会社」を設立

2005年12月　エヌエスアンドアイ・システムサービス株式会社の株式を取得し、連結子会社とする

第3の創業（2006年～）

ホールディングス体制へ移行し、ビジネスの一層の拡大を目指す

2006年 4月　純粋持株会社としてJBCCホールディングス株式会社をスタート
グループ呼称をJBグループとする

「JBCC事業分割準備株式会社」が日本ビジネスコンピューター株式会社（JBCC）に社名変更
「パートナー事業分割準備株式会社」が株式会社イグアス(iGUAZU)に社名変更
エヌエスアンドアイ・システムサービス株式会社がNSISS株式会社に社名変更

2007年 2月　東日本地区に加え西日本地区にSLCCを開設
事業継続対策とお客様サポート強化のため大阪市淀川区にSMACを開設

サービス力強化

2007年 4月　日本ビジネスコンピューター株式会社のサービス事業部門を分社し、JBサービス株式会社（JBS）を設立

株式会社ジェイ・ビー・エス・エスが、C＆Cビジネスサービス株式会社（C&CBS）に社名変更

2007年11月　株式会社ソルネット（SOLNET）の株式を取得し、連結子会社とする

2008年 3月　連結子会社のジェイ・ビー・ディー・ケー株式会社（JBDK）を解散

商品開発力強化

2008年 4月　日本ビジネスコンピューター株式会社のソフトウェア事業および先進技術に関する機能を、株式会社アプティへ移管
株式会社アプティがJBアドバンスト・テクノロジー株式会社（JBAT）に社名変更

パートナー戦略強化

2008年10月　株式会社イグアスとサプライバンク株式会社を経営統合し、株式会社イグアス（iGUAZU）を存続会社とする

グローバル展開

2008年11月　連結子会社として捷報（大連）信息技術有限公司（JBCN大連）を中国大連市に設立

2009年 3月　中国大連市に運用監視センター（SMAC大連）を開設

情報ソリューション分野再編

2009年 4月　日本ビジネスコンピューター株式会社、NSISS株式会社およびJBサービス株式会社の3社間で事業再編

NSISS株式会社がJBエンタープライズソリューション株式会社（JBES）に社名変更

2009年 5月　ゼネラル・ビジネス・サービス株式会社（GBS）の株式を取得し、連結子会社とする

2009年 7月　株式会社リード・レックスの株式を取得し、連結子会社とする

2009年10月　クラウド・インテグレーションセンター（CLIC）を開設（SLCCを機能強化）

2009年11月　3Dプリンターの取り扱い開始

2009年11月　連結子会社として佳報（上海）信息技術有限公司（JBCN上海）を中国上海市に設立

2010年 2月　連結子会社としてJBパートナーソリューション株式会社（JBPS）を設立

2010年 7月　連結子会社としてJBCC（Thailand）Co.,Ltd.（JBTH）をタイに設立

2010年 8月　JBCN上海の広州支店として佳報（上海）信息技術有限公司 広州分公司（JBCN広州）を設立

2011年 1月　JBエンタープライズソリューション株式会社（JBES）がケン・システムコンサルティング株式会社（KSC）の株式を取得し、連結子会社とする

2011年 2月　JBエンタープライズソリューション株式会社（JBES）がアドバンスト・アプリケーション株式会社（AAC）の株式を取得し、連結子会社とする

2011年 7月　プリンターサプライに特化した法人向けECサイト「サプライズバンクドットコム」を開設

情報ソリューション分野再編

2012年 4月　JBエンタープライズソリューション株式会社を存続会社として、日本ビジネスコンピューター株式会社およびJBサービス株式会社の一部事業を再編し、社名をJBCC株式会社（JBCC）とする
JBサービス株式会社と株式会社ジェイビーシーシー・テクニカル・サービスを事業統合し、JBサービス株式会社（JBS）を存続会社とする

2012年10月　イグアス（iGUAZU）が渋谷に3Dプリンターショールーム「CUBE」を開設

2013年 1月　連結子会社としてJBSG PTE. LTD.（JBSG）をシンガポールに設立

2013年 8月　IBMグローバル認定を取得し、「JBCC PureFlexラボサービス」を提供開始

2014年 4月　JBCC株式会社とケン・システムコンサルティング株式会社（KSC）を経営統合し、JBCC株式会社（JBCC）を存続会社とする

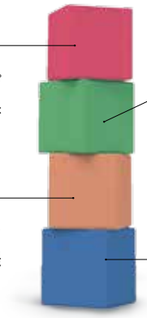
JBCC株式会社（JBCC）の子会社であるアドバンスト・アプリケーション株式会社（AAC）をJBCCホールディングス株式会社の子会社とする

【事業内容】Business Categories

企業の成長を4つの事業分野で支援します

4つの事業分野でグループ各社が連携してお客様を支援

JBグループは4つの事業分野でビジネスを展開し、お客様の経営、IT活用の課題を解決するためのソリューション&サービスを取り揃え、お客様を支援しています。



情報ソリューション

IT活用に関するトータルサービス（コンサルティング、アプリケーション開発、システムインテグレーション、運用、保守、監視、アウトソーシング等）の提供を行っています。

製品開発製造

JBグループ独自のソフトウェアソリューション、プリンティングシステム、セキュリティ関連ソリューションの開発・提供を行っています。

ディストリビューション

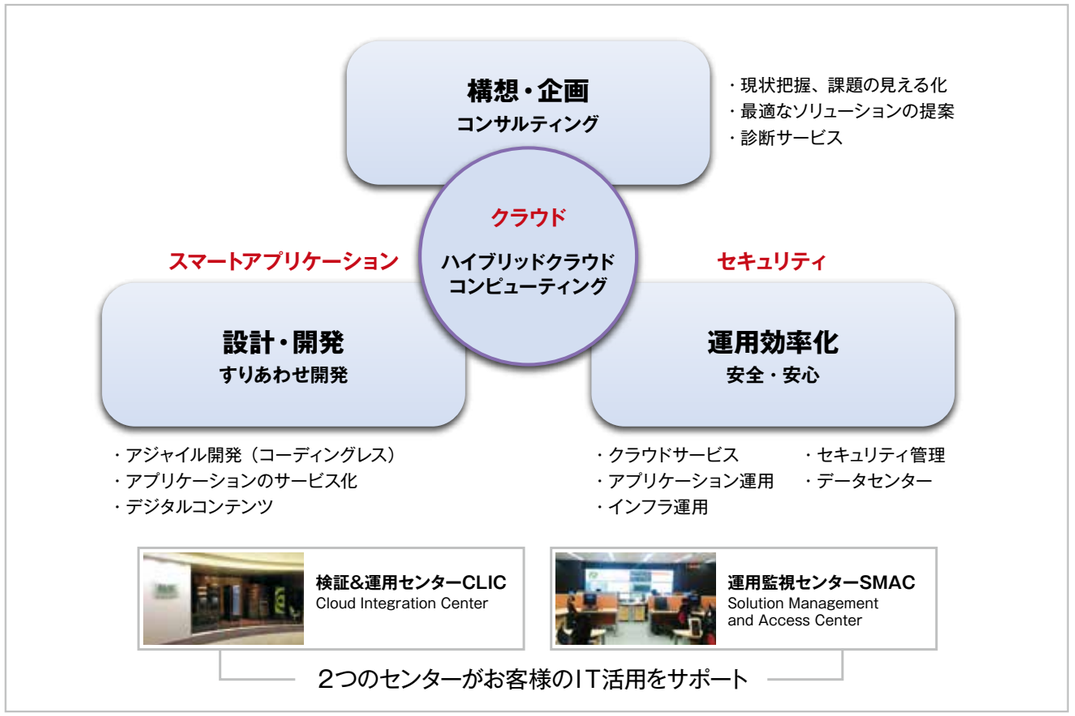
ビジネスパートナー様向けに、ハードウェア（サーバー、PC、プリンター等）、ソフトウェアおよびサービス等の販売を行っています。
また、法人向けにITサプライ用品からオフィス文具用品といったサプライ品を販売するとともに、ITの活用による調達代行を行っています。

シェアード・サービス

各種スタッフ業務の提供を行っています。

ソリューション&サービス

「情報ソリューション」を軸に、「ディストリビューション」、「製品開発製造」、「シェアード・サービス」の各事業を展開し、お客様の変革と成長を支援しています。



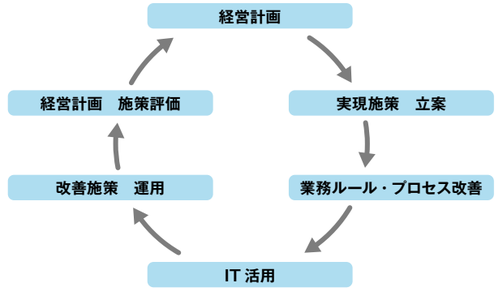
【情報ソリューション】

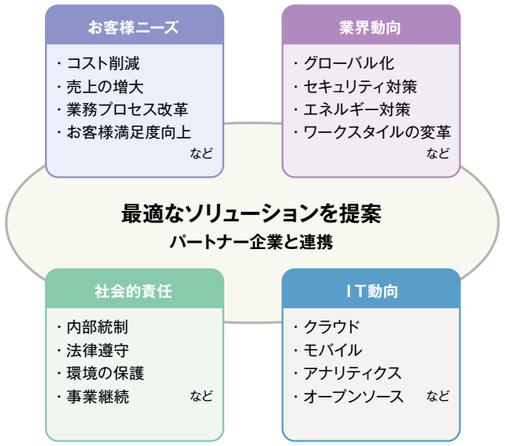
お客様の経営戦略を実現する IT活用を支援します

お客様に最適なソリューションを提案

構想・企画

システムに精通した経験豊富な専門家が、お客様の経営戦略を実現するきめ細かなコンサルティングサービスを提供しています。
経営／業務／ITの課題などを構造化したディスカッションにより見える化し、解決策として新たに「プロセス」「体制」「ナレッジ」「テクノロジー」をデザインします。その中でIT活用が効果を生む箇所を抽出し、最適なソリューションの提案へと具体化しています。





■ 2万社以上の経験と実績

これまでに2万社以上の様々な企業のIT活用を支援してきた経験と実績をベースに、お客様のニーズや課題に応じた最適なソリューションを検討し、提案しています。

■ パートナー企業との連携

クラウドをはじめ、ハードウェア、ソフトウェア、セキュリティ、ERP、医療など各分野で実績のある企業と連携し、お客様毎に最適なソリューションや機器を組み合わせて提案しています。

“オフィスショーケース” 化への取り組み

最新技術に自らが取り組み、お客様のモデルケースに

JBグループでは「まず自分たちで試し、良い点・悪い点をしっかり把握し、お客様に提案する」という“オフィスショーケース”化に取り組んでいます。
お客様はJBグループでのIT活用を実際に確認することで、IT活用のイメージをつかんでいただくことができます。
例えば、サーバー統合や仮想化技術の実践、クラウド環境の構築などIT環境の最適化をグループ内で実践しています。

【情報ソリューション】

お客様のシステム開発・運用を支援します

多種多様なお客様のシステム開発を支援

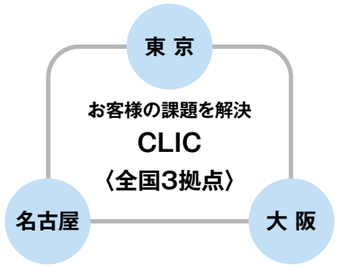
設計・開発

豊富な経験、高度なプログラム技術、業種ノウハウ、プロジェクトマネジメント力を結集し、上流工程から下流工程まで幅広い経験を積んだシステム開発のITエキスパートがお客様のニーズに即した様々なシステムを構築しています。

検証&運用センター CLIC

Cloud Integration Center

検証 & 運用センター CLIC では、お客様のシステム環境の検証や最新ソリューションのデモンストレーションなどを提供しています。
また、本格的なクラウド時代を迎え、アプリケーションをサービスで提供するクラウド基盤の運用に取り組んでいます。



- クラウド基盤の運用
- お客様の既存システムのクラウド環境への移行検証
- ハイブリッドクラウド環境の検証
- JB グループが提供するクラウドサービスの体験利用

など

未来の可能性につながる IT 活用

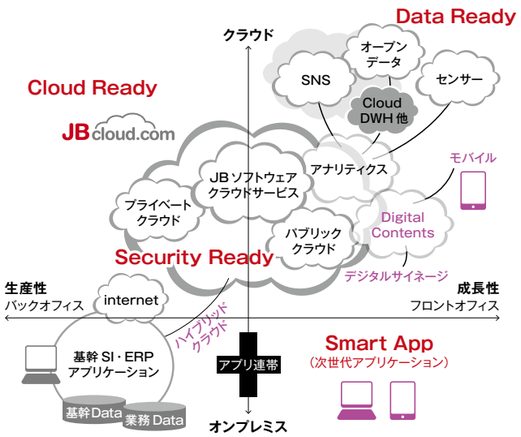
IT テクノロジーの進化により、クラウドの利用拡大やスマートデバイスの普及、膨大なデータの利活用が進んでいます。
クラウドを中心としたビジネスモデルの変革により、お客様の成長に貢献する新しいソリューションをお届けしています。

クラウド（Cloud Ready）
ハイブリッドなシステム環境へ

クラウド上で ERP ソリューションや情報発信ソリューションなどのアプリケーションを安全・安心に提供しています。

セキュリティ（Security Ready）
いつでも、どこでも安心のIT環境へ

スマートデバイスの活用やクラウド上のデータを安全に使うためのセキュリティサービスを提供しています。



データ（Data Ready）
膨大なデータを価値ある情報へ

基幹業務、SNS、あるいはセンサーから送りだされるデータなど、様々なデータを分析し、経営戦略に役立つ情報活用を支援しています。

24 時間 365 日のシステム運用を支援

運用効率化

運用監視センター SMAC では、お客様の IT インフラを 24 時間 365 日体制で支援しています。
SMAC から各種サービスを一元的に提供することで、複雑なシステム運用の負荷軽減や人材不足の解消、情報セキュリティの維持管理などの課題を解決しています。
万一のトラブルが発生した場合には、SMACと全国のサービス拠点が連携し、ITシステムの障害回復支援や保守サービスを行う体制を取っています。

運用監視センター SMAC

Solution Management and Access Center

- セキュリティ対策
- 24時間365日
- 運用体制・要員
- ノンストップ運用
- 災害対策

● システム監視サービス	クラウドシステム監視 ネットワーク監視
● セキュリティ監視サービス	ファイアウォール Webフィルタリング
● システム運用サービス	システムジョブマネジメント 遠隔バックアップ・ハウジング
● ヘルプデスクサービス	ITIL準拠の専用ヘルプデスク ITIL運用アセスメントサービス
● コールセンターサービス	ハードウェア障害受付　受付代行 受付統合サービス

全国のサービス拠点と連携

障害回復支援

- サーバー障害支援
- クライアント障害支援
- ネットワーク障害回復支援
- クラウド運用支援

ハードウェア保守

- オンサイト保守サービス
- マルチベンダー保守サービス
- ITインフラ診断サービス

高品質な体制で事業継続を支援

運用監視センターは 2 つの国際規格の認証を取得し、ITIL 準拠の高品質なサービス提供と情報セキュリティレベルの維持・向上に取り組んでいます。
このような高品質なIT運用と情報セキュリティを兼ね備えた体制を関東・関西2箇所の SMAC で二重化し、災害時等でもお客様の事業継続を支援します。

［ 認証取得 ］

ITサービスマネジメント　JQA-IT0030
情報セキュリティマネジメント　JQA-IM0148

［適用範囲組織名］
SMAC東京、SMAC大阪、中部サービスデスク、西日本サービスデスク

【情報ソリューション】

お客様を取り巻く環境の変化とともに多様化する　ニーズにお応えします

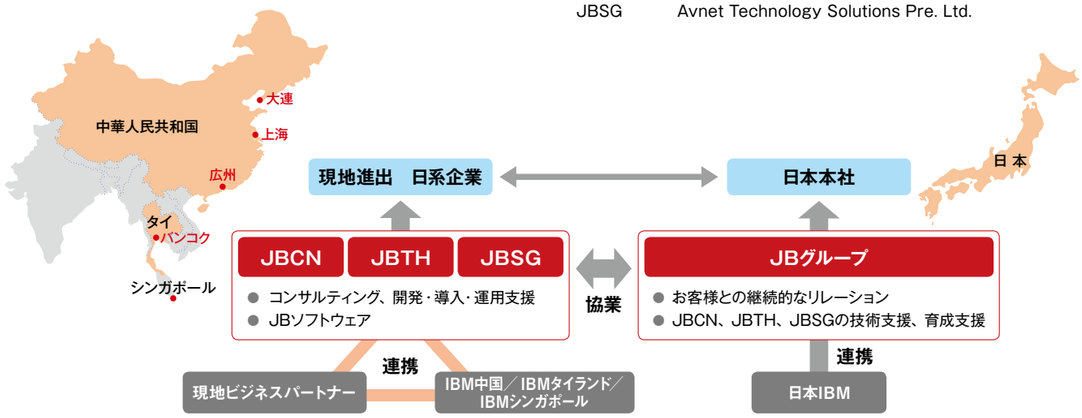
グローバル展開

アジアに進出する日系企業のIT活用を支援

JBグループでは、アジアに進出する日系企業の機器調達／ITシステムの設計／構築から運用までをJBグループ各社や現地企業と連携し、支援しています。
お客様の日本本社とも連携をとり、グローバルIT戦略をコーディネートしています。

［ 現地ビジネスパートナー ］

JBCN 上海	聯迪恒星（南京）信息系統有限公司（LDNS）
JBCN 広州	広東華智科技有限公司（Whizen）
JBCN 大連	大連百易軟件股份有限公司（Presoft）、Pactera Technology International Ltd.
JBTH	Metro Systems Corporation Public Company Limited.
	iCONEXT Co., Ltd.
JBSG	Avnet Technology Solutions Pre. Ltd.



人財育成

国内唯一の IBM 認定トレーニング・プロバイダー

i-Learning では、研修サービスの提供により国際社会で活躍できる人財の育成、活力ある組織づくりを支援しています。
国内唯一の IBM 認定トレーニング・プロバイダーとしてテクニカル・スキルからヒューマン・スキルに関する 600 種以上の豊富な研修コースを取り揃えています。

［ 研修ラインナップ ］

- IT 研修（IBM 製品研修、その他ベンダー製品研修）
- 人材開発研修／営業研修
- プロジェクトマネジメント研修
- 業種業務研修（流通、製造、金融）
- 新入社員研修
- e- ラーニング、自習教材、通信研修　　など

研修の様子

環境・エネルギー

企業の電力利用を最適化

JBSでは、電力利用の最適化のための IT インフラの構築、エネルギー消費量の見える化／最適化などの環境関連ソリューション&サービスを取り揃え、企業の環境・エネルギー対策を支援しています。
再生可能エネルギー分野では、太陽光発電状況をITIL ®ベースの「PV監視クラウドサービス」で 24 時間 365 日の監視を行い、蓄積されたデータを基にした分析を提供し、設備の効率維持を支援しています。太陽光発電設備のシステム設計・販売・施工から運用・メンテナンスまでワンストップで提供しています。

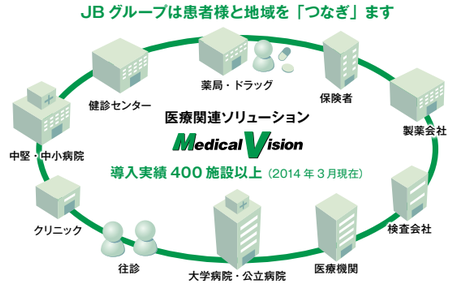
発電状況は運用監視センターSMACが常時監視し、デジタルサイネージで「見える化」

JBグループ社宅に太陽光発電装置を設置

医療

医療・ヘルスケア分野の課題解決を支援

JBCCでは、2004 年にJBCCヘルスケア・コンソーシアム（JBHC）を設立し、電子カルテ／医事会計・部門システムといった病院情報システム（HIS）の提供から、セキュリティ・運用保守まで幅広い IT の活用を支援しています。
また「地域包括ケアシステム」実現に向けて患者様と地域、患者様と病院をつなぐソリューションの展開を進めています。地域連携・往診・在宅診療など必要なニーズを IT を活用してつなぎ、医療サービスを安心して受けられる社会の実現を目指しています。



JBHC　**JBCC ヘルスケア・コンソーシアム**
http://www.jbhc.jp/

JBCCと医療・ヘルスケア分野に関連した優良企業が設立した企業連合で、単独企業では解決できない病院業務全般の課題を総合的に対応しています。

ものづくり

3Dプリンターの新たな活用を創出

iGUAZU では、米国 3D Systems 社製 3D プリンターの取り扱いを 2009 年からスタートし、JBSで保守の提供を行っています。
3D プリンターの精度向上や利用できる造形材料の進化(ゴム、金属、セラミック他）もあり、検証用としての造形だけでなく、完成品の造形手段として活用が拡がっています。
JBグループでは日本国内のみならず、タイを中心とするアジアの製造業をはじめ、開発・研究機関、医療、教育、デザインなどの“ものづくり”に携わる様々な分野に 3D プリンターの活用を提案しています。

3D スキャナー
（あらゆる立体物を 3D プリンターで造形可能な 3D データとして読み取ります）

3D プリンターによる造形物

【ディストリビューション】

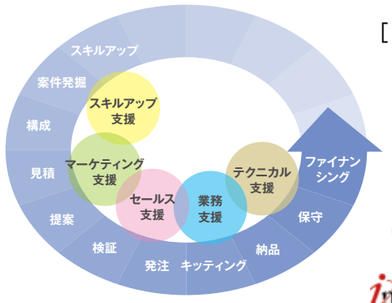
ビジネスパートナー様に様々な商材を提供します

あらゆる側面でビジネスを支援

主にビジネスパートナー様に対して、最新のシステム製品、ITサプライ・オフィス製品、新たな商材などをワンストップ&オンデマンドに提供しています。

ディストリビューション事業

主に全国約 650 社のビジネスパートナー様向けに、高性能なサーバーを中心としたハードウェア、各種ソリューション&サービスなどを豊富な品揃えの中から選定し、提供しています。
また、ビジネスに役立つ情報の提供、資格取得のためのスキルアップ支援など、あらゆる側面でビジネスパートナー様を支援しています。



[国内総代理店]

VISION SOLUTIONS
BSafe
SOCOCO social communications company
intra-mart for i
Zend php Zend php 日本語版 for System i
Premier Business Partner IBM

サプライ事業

豊富な品揃えのサプライ品を様々な形態で提供しています。

[法人さま向け]

プリンターサプライ専門ショッピングサイト

専門性と価格優位性を強みにプリンター消耗品を中心にプリンター、周辺機器など 7,000 点以上の商品を取り揃え、提供しています。

サプライズバンクドットコム
http://www.suppliesbank.com/

[一般消費者向け]

防災グッズ通販サイト

“あなたと、あなたの大切なひとを守りたい”をコンセプトに、様々な防災用品を幅広い方に提供しています。

防災グッズ通販サイト 防災ごバンク Save up for a rainy day. ー 備えあれば憂いなし ー ドットコム
http://www.bousaizbank.com/

3D プリンター事業

米国 3D Systems 社製 3D プリンターを製造業から個人向けまで幅広いラインナップで取り揃えています。
川崎事業所に併設する 3D プリンターショールームでは、3D プリンターの具体的な活用イメージを持っていただけるように、稼働中の実機や造形物をご紹介しています。

iGUAZUは、2013年8月に3D Systems社より、3Dプリンター関連の販売店（全世界111社）のうちの2012年の伸長率がNo.1として表彰されました。

製造業向け 3D プリンター

個人向け 3D プリンターと造形物

（3D プリンターショールームに展示）

【製品開発製造】

オリジナルソリューションを開発・提供します

お客様に役立つ様々なソリューションを開発

これまでの経験とノウハウをベースに、お客様の業務に役立つ様々なオリジナルソリューションを開発・提供しています。
業務ソリューションや特化ソリューションの他、「つなぐ」をキーワードに、お客様に最適なソリューションを創出し、企業の成長性に貢献しています。

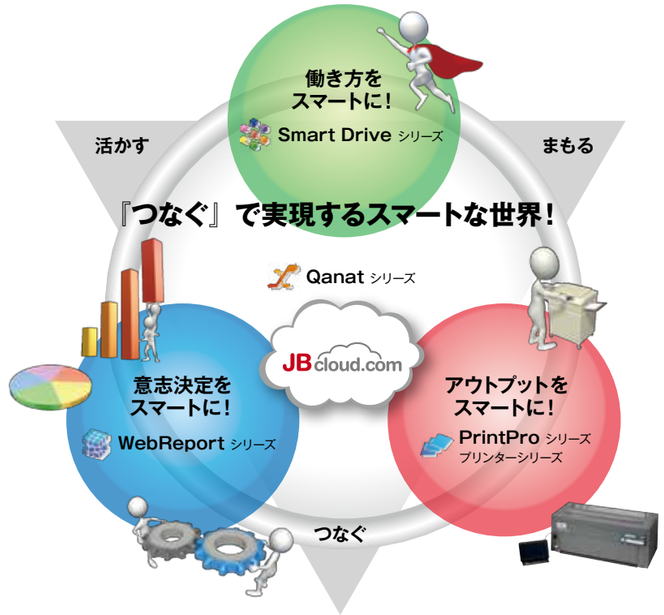
- ビジネススタイルの変革に向けた Smart Drive シリーズ
- ブラウザ上で簡単分析を実現する実績の高い WebReport シリーズ
- ノンプログラミングで簡単帳票設計を可能にする PrintPro シリーズ
- 市場のニーズに対応するクラウドサービス JB cloud.com

[業務ソリューション]

- クラウド活用 連帯型ERPシステム
  EnterpriseVision
- 生産管理システム
  R-PiCS V4

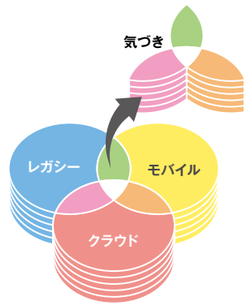
[特化ソリューション]

- 医療ソリューション
  MedicalVision
- システム開発支援ツール
  Xupper II
- 商工会議所運営ソリューション
  Chambers Pack
- クラウド型デジタルサイネージ システム
  mot!VISION



先進技術研究所での取り組み

お客様に役立つソリューションをお届けするために、先進技術への取り組みを積極的に行っています。
クラウド、ビッグデータ、モバイル、ソーシャル、センサーなどのITキーワードはもとより、これまでの経験を活かした「気づき」を具現化することを実践しています。
オープンソースのコミュニティに参加し、社会へ貢献するとともに最新技術に触れることにも挑戦しています。



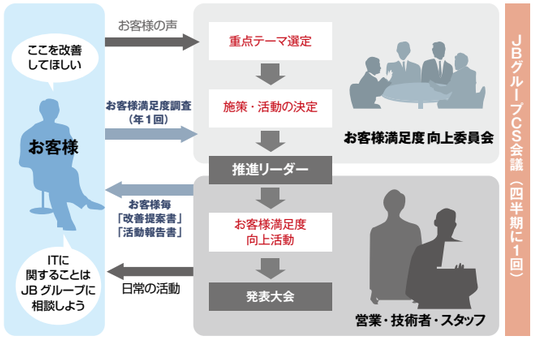
【お客様視点での活動】

お客様の満足度向上に努めます

JBグループは、お客様の経営課題を解決し、企業活動を支援するIT活用をお手伝いしています。
お客様に信頼され、ITに関することなら何でも任せてもらえるパートナーとして認めていただけるように努めています。

お客様の声を伺い活動に展開

日常の活動でお客様が抱える課題や要望を理解すると共に、お客様からの評価やご意見を伺う「お客様満足度調査」を毎年実施しています。
お客様の声を営業活動の質の向上、サービス品質の向上、業務改善などに反映し、お客様により一層ご満足いただけるサービスを提供できるよう、改善活動を推進しています。



社員全員参加の「CS 活動」を実施

「お客様満足度調査」の結果や日頃のお客様の声をベースに、全職種のメンバーが連携し、業務に密着したCS活動を実施しています。
活動内容と結果は毎年発表大会を実施し、グループ内で共有・展開しています。

※CS：Customer Satisfaction

お客様に役立つ情報を提供・提案

各種ソリューションや導入事例など、お客様に役立つ情報をホームページやソーシャルメディアでタイムリーにお知らせするとともに、JB グループ情報誌などでも詳しくご紹介しています。
「JB Group IT Forum」やグループ各社主催のセミナーでは最新ソリューションや導入事例・効果について、より具体的にご紹介しています。

［JBグループ出版書籍］
http://www.jbcchd.co.jp/corporate/book.html

［ソーシャルメディア］
Facebook　https://www.facebook.com/jbcchd
Twitter　https://twitter.com/jbcchd

［JBグループポータルサイト］
http://www.jbgroup.jp/

［JB Group IT Forum］
展示会場

［JBグループ情報誌Link（電子書籍）］
http://www.jbgroup.jp/link/

［Link お客様事例］
http://www.jbgroup.jp/casestudy/

経営層の方々を主な読者対象として、「人、社会、環境、情報、イノベーションを考える」をコンセプトにＩＴ活用のみならず文化・教養に関する情報をご紹介しています。

【CSR ／コーポレート・ガバナンス】

社会および環境との調和を図ります

CSR基本理念　JBグループはベスト・サービスカンパニーとして、よき企業市民を目指し、社会および環境との調和を図ります。

CSR実施方針
（1）法令・規制を遵守し、お客様との約束を守り、高水準の倫理を保つ。
（2）常に最新の IT に挑戦し、自らマインドによる開発、自社活用、お客様への提案・提供により、日本の IT 活用の促進に貢献する。
（3）グローバルな視野を持つよき企業市民として、社会への貢献、環境保全活動を積極的に行う。

CSR活動分野　CSR 実施方針をベースに事業を通じた活動に加え、社会参加や地域貢献についても積極的に活動しています。
※詳細はホームページや CSR レポートよりご確認ください。http://www.jbcchd.co.jp/csr/

事業活動を通じた社会貢献活動
- システムの最適化提案によるグリーン IT の実践（サーバー統合、仮想化、クラウド）
- 企業の電力使用の最適化を支援
- 省エネ／省電力を実現するシステム運用提案
- 環境省・国土交通省より港湾低炭素化推進の実証事業を採択
- カーボンオフセット事業による企業の CO_2 排出削減を支援　など

太陽光発電

企業市民としての社会貢献活動
- 東日本大震災被災地支援（森の長城プロジェクトに参画※など）
- 国内里山保全※、植樹活動
- 中国ホルチン砂漠緑化活動
- エコキャップ回収、「チャレンジ 25」（CO_2 削減運動）への参加
- 地域貢献（清掃、献血、物品寄付）、各種募金活動
- 日本経済新聞社主催　日経「星新一賞」に協賛※　など

※ 2013 年度に新たに取り組みをスタートした主な活動

里山保全活動
（千葉県袖ヶ浦市）

中国ホルチン砂漠緑化活動

企業倫理・社会的責任遵守活動
- ＪＢグループ内部統制方針
- ＪＢグループ行動基準
- ＪＢグループ環境方針
- 社会的責任　-ISO14001 取得（環境活動）
  - 雇用拡大（女性、障がい者、高齢者）

ISO14001

CSRレポート

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

詳細はホームページよりご確認ください。
http://www.jbcchd.co.jp/ir/management/governance.html

ＪＢグループの経営方針は（1）透明性の高いグループ経営（2）企業価値の増大（3）日本の IT 活用促進に貢献の 3 つであり、ステークホルダー（お客様、株主、取引先、社員、社会）に対し、常に最高の価値を提供し、企業価値を継続的に向上できるよう努めています。

● コーポレートガバナンス体制
取締役会は業務執行の監督ならびに重要な意思決定を行い、監査役会は独立した立場から経営の監視を行っています。
グループベースでの内部統制システムの構築を図り、業務活動の妥当性や適法性について検証するため代表取締役直属の内部監査担当を任命しています。

● コンプライアンス
コンプライアンス経営を徹底し、役員および社員の意識づけを図るために「JBグループ行動基準」を制定し、この実践を通じて高い倫理観を共有し、今後とも広く社会から信頼される企業体となるよう努めています。

JBCCホールディングスの会社概要をご紹介します

2014年7月1日現在

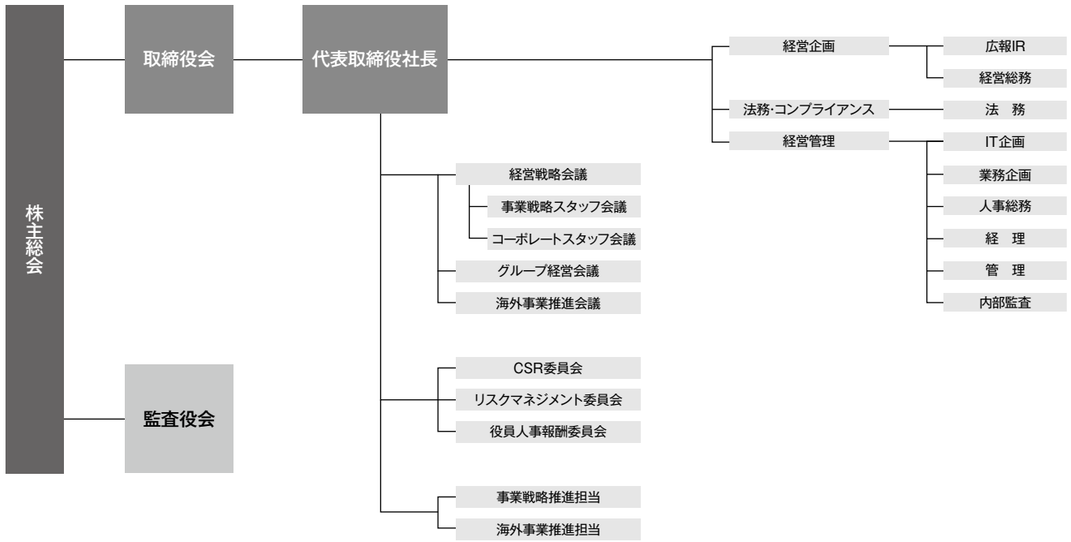
会社概要

社名	JBCC ホールディングス株式会社
英文名称	JBCC Holdings Inc.
URL	http://www.jbcchd.co.jp/
設立	1964 年 4 月 1 日
所在地	〒144-8721 東京都大田区蒲田5-37-1 ニッセイアロマスクエア15F
資本金	4,687 百万円
グループ社員数	2,777 名 (2014 年 4 月 1 日現在)
事業内容	純粋持株会社
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード 9889)
会計監査員	あらた監査法人

役員

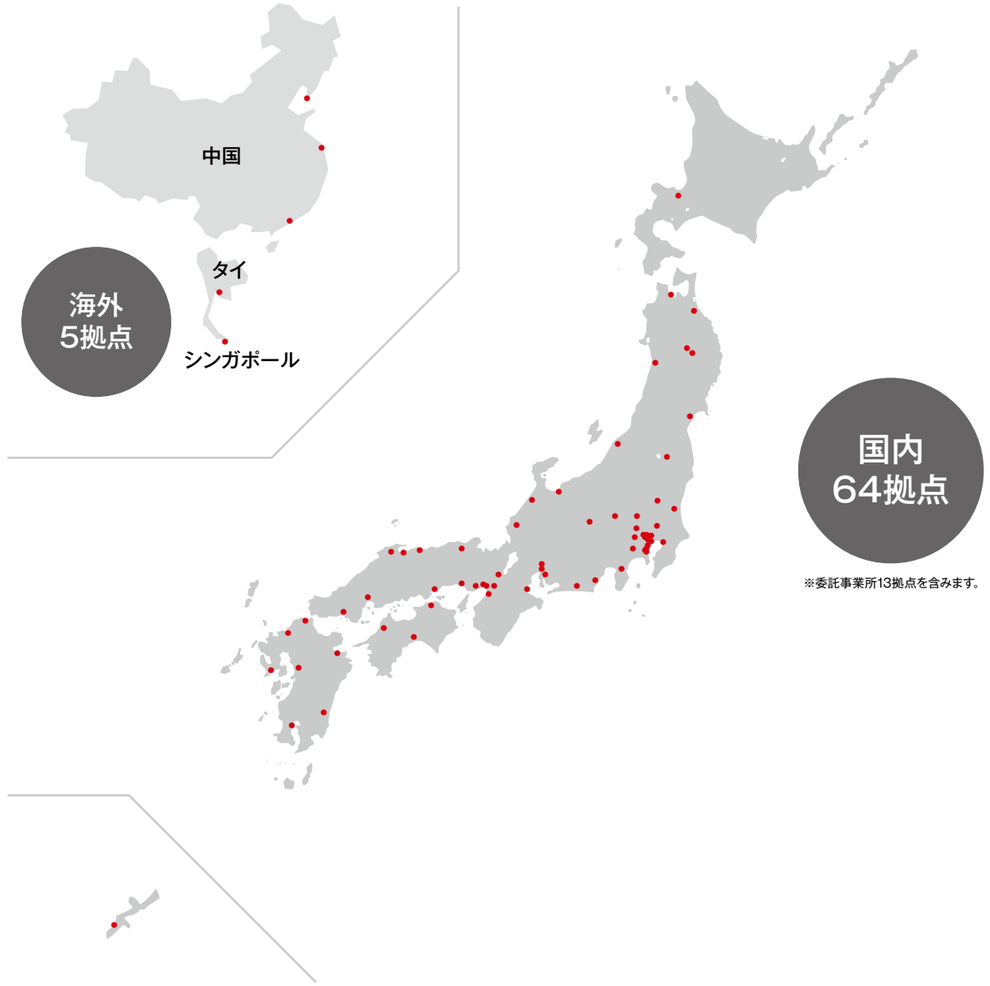
代表取締役社長	山田　隆司
代表取締役	東上　征司
取締役専務執行役員	赤坂　喜好
取締役常務執行役員	一木　一夫
取締役	矢花　達也
	髙橋　正孝
	谷口　卓
	長谷川　礼司（社外取締役）
常勤監査役	田邉　雅章
監査役	今村　昭文（社外監査役）
	齊藤　紀夫（社外監査役）

組織体制



グループ拠点

JB グループの各拠点からダイレクトにお客様をサポート。
いつでも、どこでも同品質のサービスを提供しています。



※委託事業所13拠点を含みます。

JBグループの事業会社16社をご紹介します

2014年4月1日現在

情報ソリューション

変革と成長に貢献するWebスケールICTを提供

業務ソリューション、医療、公共向けなどのソリューションを軸に、システム構築からクラウドまで、お客様に最適な機能･サービスを提供しています。

JBCC 株式会社
代表取締役社長：東上　征司
社員数：1,015 名
設立：　1988 年 4 月 1 日
URL：　http://www.jbcc.co.jp/

金融機関のシステム構築・運用を支援

創設以来、金融機関のお客様を中心に基幹システムのインフラ構築とアプリケーション開発を主要なビジネス分野として展開しています。

アドバンスト・アプリケーション株式会社
代表取締役社長：宮村　忠良
社員数：268 名
設立：　1987 年 6 月 1 日
URL：　http://www.aac.co.jp/

中部地区に密着してお客様のIT活用を支援

中部地区での経験と実績を活かし､主にものづくり支援(PLM)、バックオフィス業務構築（会計・人事／給与など）、仮想化システム構築の各種ソリューション&サービスを提供しています。

株式会社シーアイエス
代表取締役社長：後藤　雅彦
社員数：97 名
設立：　1982 年 2 月
URL：　http://www.cisjp.com/

九州、中国地区に密着してお客様のIT活用を支援

九州、中国地区のベスト・ソリューション・パートナーとして製造業・プラントエンジニアリング業・情報通信業・公共・医療のお客様を中心に、幅広い業種・業務に各種ソリューション&サービスを提供しています。

株式会社ソルネット
代表取締役社長：長浜　好数
社員数：194 名
設立：　1967 年 2 月 3 日
URL：　http://www.solnet-dot.com/

基幹システムとWeb・クラウドの融合を支援

IBM、Google、salesforce.com などのグローバル企業と連携し、基幹システムと最新 Web テクノロジーを融合したシステム構築を支援しています。

ゼネラル・ビジネス・サービス株式会社
代表取締役社長：宮下　克昭
社員数：93 名
設立：　1993 年 6 月 29 日
URL：　http://www.gbs.co.jp/

人財育成を支援する幅広い研修を提供

国内唯一の IBM 認定トレーニング・プロバイダーとして、IBM 製品研修をはじめとする IT 研修、PM 研修、人財開発研修など豊富な研修メニューを通じて、人財育成を支援しています。

株式会社アイ・ラーニング
代表取締役社長：片岡　久
社員数：58 名
設立：　1990 年 2 月 1 日
URL：　http://www.i-learning.jp/

生産管理システム「R-PiCS」を開発・提供

販売開始から 20 年、国内外 600 サイト以上の導入実績を誇る生産管理システム R-PiCS（アールピックス）の開発メーカーとして日本、中国、東南アジアのお客様の生産性向上を支援しています。

株式会社リード・レックス
代表取締役社長：市川　国昭
社員数：104 名
設立：　1974 年 7 月 4 日
URL：　http://www.reedrex.co.jp/

システムの導入・運用・監視・保守を支援

運用監視センター SMAC と全国のサービス拠点をベースに、システムの導入・運用・監視・保守を支援しています。環境・医療・3D プリンターなどの新たな分野へもIT運用サービスを提供しています。

JBサービス株式会社
代表取締役社長：後藤　浩
社員数：317 名
設立：　2007 年 4 月 2 日
URL：　http://www.jbsvc.co.jp/

情報ソリューション　（海外）

中国に進出するお客様のIT活用を支援

中国でのIT総合窓口として、現地ビジネスパートナーやJBグループ各社と連携し、機器調達／ITシステムの設計／構築から運用までワンストップで支援しています。

捷報（大連）信息技術有限公司
董事総経理：岩田　真一
社員数：10 名
設立：　2008 年 11 月 11 日
URL：　http://www.jbcchd.co.jp/jbcn/

佳報（上海）信息技術有限公司
董事総経理：森　浩二
社員数：15 名
設立：　2009 年 11 月 30 日
URL：　http://www.jbcchd.co.jp/jbcn/

タイに進出するお客様の IT 活用を支援

タイでのIT総合窓口として、現地ビジネスパートナーやJBグループ各社と連携し、機器調達／ITシステムの設計／構築から運用までワンストップで支援しています。

JBCC (Thailand) Co., Ltd.
代表取締役社長：矢花　達也
社員数：15 名
設立：　2010 年 7 月 13 日
URL：　http://www.jbcchd.co.jp/jbth/

ASEAN に進出するお客様の IT 活用を支援

ASEAN でのIT総合窓口として、現地ビジネスパートナーやJBグループ各社と連携し、機器調達／ITシステムの設計／構築から運用までワンストップで支援しています。

JBSG PTE. LTD.
代表取締役社長：矢花　達也
社員数：3 名
設立：　2013 年 1 月 30 日
URL：　http://www.jbcchd.co.jp/jbsg/

オフショア開発を提供

日本と中国の架け橋役として、システム開発経験豊富な中国人 SE を日本国内のお客様先に紹介し、開発を支援しています。

JBパートナーソリューション株式会社
代表取締役社長：小瀧　栄二
社員数：15 名
設立：　2010 年 2 月 22 日
URL：　http://www.jbps.co.jp/

ディストリビューション

ビジネスパートナー様へ様々な商材を提供

主にビジネスパートナー様へ最新のシステム製品、3D プリンターなどの新たな商材、ITサプライ・オフィス製品などを価値ある情報とともに提供しています。

株式会社イグアス
代表取締役社長：矢花　達也
社員数：205 名
設立：　2005 年 11 月 22 日
URL：　http://www.i-guazu.co.jp/

製品開発製造

オリジナルソリューションを開発・提供

コンピューター開発・製造の経験とノウハウを活かし、オリジナルソリューション（情報連携／プリンティング／レポーティングなど）、プリンター他、各種ハードウェアを開発･製造しています。

JBアドバンスト・テクノロジー株式会社
代表取締役社長：谷口　卓
社員数：131 名
設立：　1991 年 10 月
URL：　http://www.jbat.co.jp/

シェアード・サービス

JBグループ各社のスタッフ業務を推進

情報システム、経理･財務、人事･総務、業務サービスなど、スタッフ業務をJBグループ各社に提供しています。また、JBCCホールディングスのコーポレートスタッフとしてグループ全体の統制管理を支援しています。

C&Cビジネスサービス株式会社
代表取締役社長：髙橋　正孝
社員数：212 名
設立：　2002 年 4 月 1 日
URL：　http://www.ccbs.co.jp/